

## ヨーロッパ史特論Ⅱ

2 units 3rd-year(2nd semester)

Nobuhito Nagai · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** 19・20世紀フランスの宗教と宗教的現象について考察する。

**Outline)** 宗教は、近代化が進むにつれて衰退・消滅に向かうわけでは必ずしもない。むしろ、その位置づけや変容をみることで、近代史をより深く理解することが可能になると考えられる。講義では、宗教を中心に据えてフランス近世・近代史をたどり直してみたい。

**Keyword)** *history*

**Fundamental Lecture)** “ヨーロッパ歴史・社会論Ⅱ”(1.0)

**Goal)** 近現代フランスの政治・社会の基本的な特徴を理解すること

**Schedule)**

1. 問題の所在
2. 宗教改革
3. 啓蒙思想
4. フランス革命と宗教
5. 19世紀の諸体制と宗教
6. 政教分離
7. 宗教の変容

**Evaluation Criteria)** 平常点(授業への取り組みなど)と期末テストもしくはレポートの得点をもとに評価する。

**Re-evaluation)** なし

**Textbook)** 【参考書】谷川稔、渡辺和行編『近代フランスの歴史』ミネルヴァ書房、2006年

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219082>

**Contact)**

⇒ Nagai (3116-2, ) (Office Hour: 月曜11時50分-12時50分)

**Note)** この授業は隔年開講であり、平成24年度開講